

40歳代の方へ 研究へのご協力をお願いします

はじめに

現在、乳がんは女性のかかるがんの第1位であり、30歳代から60歳代では全てのがんの中で乳がんの死亡率がトップとなっています。特に40歳代で乳がんを発症する方が急増しており、より良い乳がん検診の開発が急務となっています。

研究の目的

乳がん検診は、現在、国の指針ではマンモグラフィ検査(乳房エックス線検査)が基本とされています。最近、超音波検査を使った検診方法も開発されていますが、まだ乳がん検診における有効性および利益・不利益については確かめられていません。そこで、厚生労働省は国家的プロジェクトである「がん対策のための戦略研究」として、「乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験」を立ち上げました。

研究の内容

日本全国の各地域で乳がん検診を行っている関係機関・団体のご協力を受けながら、40歳代の女性約12万人を対象に、マンモグラフィ検査に超音波検査を併用する検診と、併用しない検診(通常通りの検診)を実施して、両群の間で、検診の精度(確かさ)、利益・不利益および有効性を明らかにする大規模な比較試験です。

参加するには

乳がん検診を受ける際に、検診会場にて研究の内容についてご説明します。

研究への協力に同意された後に、超音波検査を併用するか、併用しないかのいずれかを受けていただきます。どちらの検診を受けていただくかは、地域(施設)ごとに事前に決めさせていただきます。

あなたのご協力が、乳がんの克服、さらには日本のがん対策を推進します。

※乳がんの既往歴のある方及び5年以内に乳がん以外の悪性腫瘍の既往のある方については、この研究に参加できませんので、通常通りの検診をお受けいただきます。

URL <http://www.crsu.org/j-start/>

検診に関するご案内は・・・

本研究におけるご質問や疑問は・・・

フリーダイヤル 0120-717-411・0120-711-595

NPO法人 日本臨床研究支援ユニット コールセンター(戦略研究係)

〒113-0034 東京都文京区湯島1-9-5お茶の水小柳出ビル

月～金曜日 10:00～17:00 (祝祭日、年末年始除く)



がん対策のための戦略研究